～宮大生のための海外渡航～

オタゴ大学ランゲージセンター留学報告

工学部・研究科　社会環境システム工学科・課程・専攻　左山晟良

〇派遣：ニュージーランド・オタゴ大学ランゲージセンター

〇派遣期間：　2015 年　8 月　18 日　～　2015 年　9 月　21 日

〇渡航時の学年：　1 年次

〇渡日前の手続について
・参加に至った経緯について：
今まで勉強してきた英語がどのくらい通用するのかを知りたかったから。
また、大学生のうちにできる経験として留学をしておきたかったから。

・渡航に関する手続について：
パスポート、航空券、宿の準備など

・査証取得：
なし

★体験記：

〇生活費：

・航空券往復	215844 円
・帰国時 Auckland と成田で二泊したホテル代	16576 円
・学費用	300000 円　3460NZ$
・昼食代	10500 円　（500 円×21）
・お土産代や※娯楽費用など	120000 円

※個人的にした旅行やアクティビティ、バスツアーなど

〇ホームステイ先の環境：
60 歳くらいのおばさんとサウジアラビア人の留学生の二人暮らしだった。
自分の部屋は広くはなかったが、勉強机、ベッド、タンスなどが備え付けられてあり充実はしていた。

〇大学のサポート状況：
ランゲージセンターのスタッフには、ホームステイや授業、カウンセリングなどそれぞれ担当の人がいた。また日本語が喋れるひともいる。

〇授業の様子：
初めに実力テストを行い、その成績で五段階のレベルに分けられ自分のレベルにあった授業を受けることができた。
あプワークやディスカッションが多い、また毎週単語と文法のテストが行われていた。

〇他の留学生たちの様子：
他の大学の日本人も多かった、同じように短期留学の人や学校のプログラムで半年いる人など

様々だった。他国の人だと、サウジアラビア人、中国人、韓国人、タイ人がいた。サウジアラビア人は親切でフレンドリーだった。

〇現地学生との交流:
オタゴ大学の学生と交流パーティに参加したり、大学のジムで一緒にスポーツをする企画があり関わることができた。初めに登録して、二人の留学生に一人の大学生のバディがついてお世話をしてくれる。
〇街の様子:
大学からダニーデンの中心街まで近く、とても便利だった。ショッピングモールや大型スーパーや携帯電話のショップなどそろっており、欲しいものは歩いて買いに行くことができる。
通学はバスを利用した。多くのバスが走っており、路線も多く初めはよくわからなかったが、慣れると便利だった。夜も本数は減るが 12 時近くまで走っている。
〇その他:

〇今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ
このランゲージセンターには、学ぶための施設が備わってします。自分から意欲的に勉強したり、友達を作ったりすれば、1 か月の短い期間でも成長できると思います。また、海外に行くことで客観的に日本を見ることができ、学べることが多いです。すべてが新鮮でこれまでにない体験が出来ます。費用は安くありませんが行く価値はあると思います。